



Cameroon and Japan Relay of Love and Hope  
カメルーンと日本  
愛と希望のリレー

ハルくんの  
**虹** Niji  
The Rainbow  
Rém  
L'arc-en-ciel

作・上斗米正子  
Masako Kamitomi  
画・佐藤泰生  
Taisei Sato

カメルーンと日本の架け橋となったハルくんの父が少年に夢を与え、老人に夢を実現させた。虹を構成する7つの色が違っても世界をひとつに調和できる。

実に感動する  
ストーリー!

**多様性こそが  
これからの「共生社会」のカギ。**  
京都精華大学 学長 ウスビ・サコ



世界のことは遊んで楽しもう



Let's Have Fun!

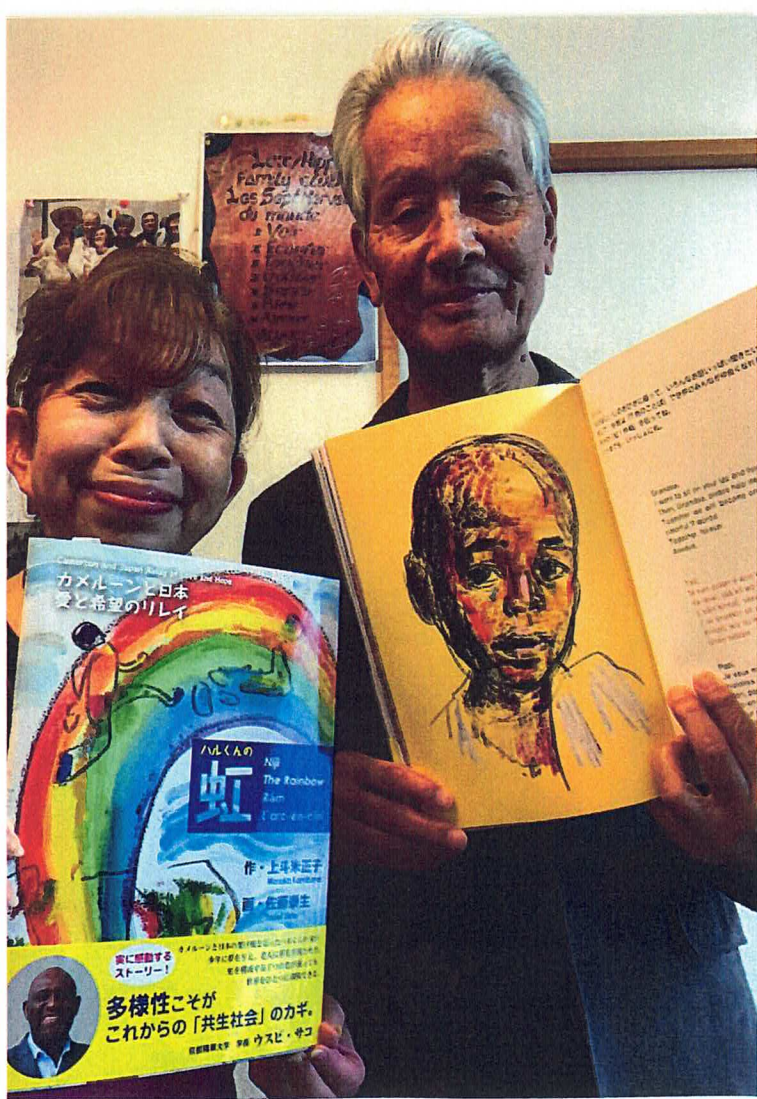
こんな日本人見たことない!



まりんしゃこと、著者  
上斗米正子さんが、ことばの  
楽しさと、何歳からでも人間の  
可能性は無限大〜を伝えます♪

著者 上斗米 正子

(一財) 言語交流研究所・ヒッポファミリークラブ  
コーディネーター・研究員フェロウ。  
未知の世界をアタック、青少年・家族のホームステイ  
プログラムを開拓、高校交換留学プログラムの母、  
愛とパッションで世界をつなぐ。



ハルくんの  
**虹** Niji  
The Rainbow  
Rém  
L'arc-en-ciel

『ハルくんの虹  
カメルーンと日本 愛と希望のリレー』  
作・上斗米正子 画・佐藤泰生  
カメルーンと日本の架け橋となったハルくんの父が、少年に夢を与え、老人に夢を実現させ…。ひとりの留学生が日本の家族や友だちと出会い、生まれた物語。日本語、英語、フランス語、ソゾ語(現地語)で語る。  
2022年3月遊行社刊 定価2,090円[税込]



写真左上/物語を綴りなしたカメルーン留学生メンジさんと著者上斗米正子さん・治史(小出)さん夫妻  
写真右上/本を手にカメルーンのハルくん

**著者トークライブ** 2月4日(土)、5日(日)、11日(土)

絵本が誕生するまでの秘話  
原画にも親しもう!  
みんなで4か国語にチャレンジ!?  
著者からのメッセージ など

トークライブ/著者 上斗米正子  
(一財) 言語交流研究所コーディネーター・ヒッポファミリークラブ研究員フェロウ。  
1981年同研究所設立時より、多言語活動の環境づくり、ヨーロッパ・ロシア他ホームステイ交流開拓、高校交換留学プログラム等推進。



**絵本の原画展**  
2月1日(水)~15日(水)

画 佐藤泰生  
画家、和光大学名誉教授、新制作協会会員。  
1973-78年フランス留学滞任。  
国内・海外で絵画展、個展を開催。  
本書で初めて絵本作成で原画を描く。



教育

# アフリカ身近に感じて

言語交流研究所ヒッポファミリークラブ(本部・東京)は、カメルーンとトーゴでの滞在記「愛しのカメルーン×トーゴ 19歳×73歳の多言語仲間16人のアフリカホームステイ発見伝」を出版した。2017年に両国を訪ねた研究所のメンバー16人が、ホームステイ先の家族との思い出、水や電気を自由に使えない不便な環境ながらも、明るく生きる現地の人々の暮らしなどを綴っている。(小林彩乃)

◇ ◇

同研究所は、自然にさまざまな言語を身に付けられる環境づくりを進めようと活動している。

ホームステイのきっかけは11年、同研究所の参事で八戸市出身の上斗米正子さん(69)、横浜ヒッポファミリークラブ会員の小出治史さん(75)夫妻と、当時カメルーンから日本に留学していたウィルムベム・メンジョ・ジュードさん(38)との出会い。

## ヒッポファミリークラブ出版 カメルーン・トーゴ滞在記



本書をPRする(左から)小出治史さん、上斗米正子さん、ウィルムベム・メンジョ・ジュードさん

### 上斗米さん(八戸)ら16人執筆

帰国したウィルムベムさんが息にも行くことになった。子に、小出さんの名前と同じ読みの「ハルシ」と名付けたこと、上斗米さん夫妻は「ハルシ君に会いたい!」と、カメルーン行きを思い立った。

その後、上斗米さんら「ヒッポファミリークラブ」のカメルーン行きが決まり、同研究所メンバーが留学経験のあるトーゴに沸かしたり、家事を全て手作業

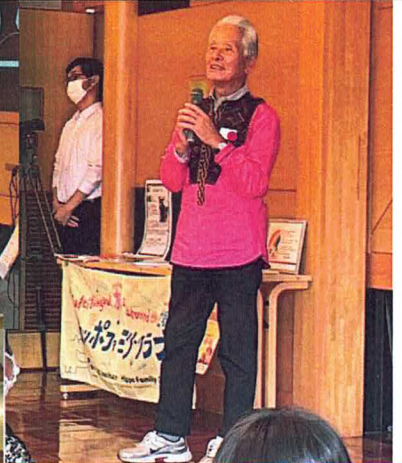
12月上旬にかけての2週間滞在。本書では、一人一人のホームステイ先でのホストファミリーとの生活などを紹介している。現地では、水道や電気などインフラが発達していないため、お湯を使うときは、まきで沸かしたり、家事を全て手作業

### <The Story>

In the spring of 2011, an international student from Cameroon came to Yokohama, Japan for researching about water. He joined the one-night homestay program by Yokohama National University and LEX Institute/Hippo Family Club, after then he was having contacts with families and friends for 5 years. During the years the students married a woman in his home country, and they had a first boy and was named "HARUSHI" the name of Japanese host-papa. We decided to visit to Cameroon to meet "HARUSHI" (Nickname Haru-kun) and had the homestay experiences. Through this encounter, we learned many important things as human beings beyond cultural and linguistic differences. Under Corona Pandemics, Ukraine and Russia wars happened, we would like to shake hands and hands while dissolving discrimination and division, connecting flatly with the person in front of us and overcome the difficulties for opening new bright future.



LEX / Hippo Multilingual Workshop &  
Picture book 『Haru-kun's Rainbow』  
Talk live, le 23 Avril 2023, Ogawamachi





# 絵本に寄せて

絵本の挿絵は初めてで、たいへんでした。絵の変化をつけるために、ページごとに虹の色を変え、ことばや、描面に黒い線のダーマトグラフを主に水彩、クレパス、パステルなどを使いました。苦労したのは表紙と、虹が湧き上がるページで何枚も書き直したことです。ドローイング風な描き方で線と色彩も跳ねて、少しでも迫力のある絵ができたらと思いました。上斗米さんはじめ皆様熱い思いが詰まって出来上がった絵本だと思います。ありがとうございます。

## 佐藤泰生

# 希い、「ハルくんの虹」の彼方。

高校時代のある日、青森県立八戸高校前の停留所に市営バスが止まり、小銭を運賃箱に入れようとした時、一瞬、希いの球体が2コ浮かんだ。ひとつ「もしも教師になるとしたら、専門分野のない先生になりたい。」

ひとつ「子どもや大人の垣根を超えた絵本を書きたい。」それは曲か透明な球体だった。バスを降りて校舎に向かった歩き出した頃に、それは音もなく弾けて、大杉平の蒼空に吸い込まれて消えた。

絵本制作に没頭していた夜、突然あの希いの球体ひとつになって私を包んだ。榊原陽(多言語活動提唱者)の指南のもと「人間の、ことば」を求め続けてきた半世紀の営みが、「ハルくんの虹」に結晶したことは実に幸運であった。

2020年8月6日、絵本の原稿に着手、まもなくカメルーンメンジさんたちと英語、NSO語、フランス語の多言語翻訳を開始、しかし画はいったい誰が描くのだろう。

その秋11月24日、治史と銀座の佐藤泰生「光の向こう側」展に赴いた。会場の日動画廊は、輝く色彩と命の躍動感に満ち、私たちは目をあわせた瞬間「画家は佐藤泰生！」と叫びた。画壇の巨匠が絵本を描いてくださるだろうか……長い日々……頑ななNON……ある日、奇跡のように光の束が「ハルくんの虹」となって私たちに届いた。

絵本の印刷色校正の折、初めて原画に触れた時、新しい希いの球体が生れた。佐藤泰生さんの原画を沢山の人が見ていただきたい、「ハルくんの虹」に込めた愛と希望をことばにするライブを開きたい。

そして今、教文館、遊行社、カメルーン大使館、一般財団法人言語交流研究所・ヒッポファミリークラブのご支援により、希いのが場が実現することになりました。佐藤泰生さんのご活躍とご協力に深く御礼申し上げます。この幸運に心から感謝して、皆さまと共に又ここから「ハルくんの虹」の彼方を目指します。

## 上斗米正子

# 「虹」誕生、そして彼方。

2022年 3月30日 「ハルくんの虹 カメルーンと日本 愛と希望のリレー」刊行 遊行社

- 3月30日 吹田市 平山ヒッポおやすみラジオ(ライオン) まりんしゅーと
- 4月28日 弥富市 田口ファミリー 虹スベシヤル(ZOOM)
- 5月7日 浜松市 ルミエールファミリー 虹スベシヤル
- 5月14日 デリー-東北新聞《教育》《国語の壁を越えた絆の物語》
- 5月15日 「ハルくんの虹」絵本カメルーンへ
- 5月15日 メンジさん・ホストファミリーに贈呈
- 5月18日 岩倉市 ナイトNight 虹スベシヤル(ZOOM)
- 5月18日 カメルーン共和国大使館一等書記官
- 5月21日 大塚市 「ハルくんの虹」本贈呈
- 5月26日 西東京市 あちゅファミリー まりんしゅー・はるさんやっくる
- 5月26日 京都精華大学 Dr.ウズベ・サコさん面談

モルガンWEB 「十代の地図」インタビュー

- 5月26日 東京都上京区 西陣 mtotoファミリー 虹スベシヤル
- 5月27日 京都中京区 花ファミリー 虹スベシヤル
- 5月31日 朝日新聞《神奈川版》「言語越えたつながり 絵本に」
- 6月1日 中日新聞岩倉版地域誌Move-it
- 6月2日 「今こそ読みたい絵本をおすすめします！」内藤和子
- 6月4日 京都 × 神戸
- 6月7日 合わせて30周年！モッチン&Lieberファミリー 虹プロジェクト
- 6月7日 ラジオ福島「お母さん教室」荒由利子さん
- 6月7日 ~平仮名辞書「ウクライナ民話『てぶくろ』と「ハルくんの虹 カメルーン日本愛と望のリレー」~
- 6月8日 川崎市中原区 小学校2年生「ハルくんの虹」読み聞かせ 小林ヨーコ

- 6月26日 カリフォルニア クジラクラブ 虹スベシヤル(ZOOM)
- 7月11日 タウンニュース中原区版「カメルーンとの交流絵本に」
- 7月8日 多摩市 多摩第二小学校6年生 読み聞かせ 薄井マリイ
- 7月14日 多摩市 多摩第二小学校3年生 読み聞かせ 薄井マリイ
- 7月23日 船橋市 ガンビーファミリー 虹スベシヤル
- 8月3日 中部本部 アフリカディワークショウアップ 虹メッセージ
- 10月6日 多摩地域タウンクラブアサコ

【カメルーン】留学生の交流が絵本に

- 10月16日 武蔵境 武蔵野市民会館文化祭自主企画講座
- 家族で参加できる多言語わくわく交流講座
- 絵本「ハルくんの虹」で世界をつなごう！
- 11月4日 八戸市 ボランファミリー 虹スベシヤル
- 11月20日 横浜区 「世界ことばくらぶ」フェスタ
- ハルくんの虹からメッセージ
- 11月26日 川崎中原区 「なははららっは祭り」
- ヒッポスターズ ハルくんの虹著者夫妻メッセージ
- 11月29日 大田区 ちらファミリー 虹の会(Tawain)研究発表
- 11月24日 ~12月6日(火) 東京朝報 日動画廊
- 佐藤泰生展「光のおもてようら」
- 12月16日 川崎中原区 いっぴいファミリー「ハルくんの虹」
- 12月17日 聖蹟桜ヶ丘 ソレイユファミリー
- カメルーン × トーゴ交流5周年スベシヤル

2023年

- 2月11日~15日 東京銀座 教文館「ハルくんの虹」
- 通訳佐藤泰生原画展 × 著者上斗米正子トークライブ
- 3月5日 船橋市 北習志野でわたくし図書館
- 絵本「ハルくんの虹」著者トークライブ&多言語であそぼう
- 3月11日~21日 福岡 福岡日動画廊 佐藤泰生展「光のおもてようら」
- 3月21日 聖蹟桜ヶ丘 世界くらぶと新森フェスタ 虹メッセージ
- 4月23日 埼玉小川町 町立図書館
- 「ハルくんの虹」著者お話しと多言語ワークショッ

To be continued .....ちっちゃな虹の手たち あなたにも届くかな

# ご挨拶

カメルーンの留学生メンジさんと、上斗米正子さん・小出治史さんとの交流から、250民族、250言語の共存の真実が、楽しく学べるカラフルな絵本になりました。多世代の皆様へ、出会いから生まれた夢が紡がれるドキュメントをお褒めいたします。

教文館 キリスト教書部部長 大倉公平

I wish to congratulate you for the wonderful initiative of the picture book relating the Japanese experience of an ordinary Cameroonian family, as well as for all activities so far conducted by Hippo Family Club and LEX Institute to promote this piece of art.

I also wish to express my appreciation for your endeavor to work as a cultural bridge between Cameroon and Japan. Kindly be assured of the nominal support of the Embassy for the painting exhibition and lecture to be held from February 11 to February 15, 2023 in Tokyo.

To Ms.Masako Kamitomi  
LEX Institute/Hippo Family Club

The Ambassador Dr. Pierre Ndzengeu

日本の皆さんとカメルーンとの交流と絵本にするという素晴らしい取り組み、またこの素晴らしい作品をたらした(一財)言語交流研究所ヒッポファミリークラブのあらゆる活動に対して、あなたに敬意を表明いたします。

また、カメルーンと日本の文化の結びつきを深めたいというご協力に、感謝の意を表します。2月1日から開催される「ハルくんの虹 カメルーン日本愛と希望のリレー」絵本の原画展と著者トークライブに対して、駐日カメルーン共和国大使館の健康名義の使用を承諾します。

カメルーン共和国 特命全權大使 ビエール・ゼンガ

「ハルくんの虹」絵本の原画展と著者トークライブの開催おめでとうございます。

(一財)言語交流研究所ヒッポファミリークラブは、「ことばと人間」をテーマに1981年に発足しました。多言語の自然習得活動、国際交流活動、研究活動を柱に全国的に活動をしています。

上斗米正子さんはヒッポファミリークラブ発足当初からリーダーの一人として国際交流活動を中心に携わり、ヨーロッパの各国をはじめ、世界中に青少年や高校生、家族たちを送り出すプログラムづくりに尽力されてきました。近年はアフリカへの交流づくりを推進し、カメルーン、トーゴ、マリイなどのホームステイ交流を実現させました。これらの交流を通して「ハルくんの虹」が誕生し、また今回の素敵なイベント開催につながったことは誠に感慨深いものがあります。たった一つの小さな出会いが人生のかけがえのない財産になることを教えてくれる書籍であり、多くの方に手に取っていただくことを願っています。

(一財)言語交流研究所ヒッポファミリークラブ 常務理事 平岡一武

絵本「ハルくんの虹」は、カメルーンから横浜へ来た一人の留学生との交流から生まれたものです。異国の地で孤独な青年を救ってくれた一枚の張り紙「私たち」の家庭に一泊ホームステイして日本の家族になりませんか?それが始まりだった。子どもから大人まで、踊ったり歌ったり、何語でも会話した楽しい日々。

5年間の留学が終わる青年はカメルーンへ帰国、そして約束されたのは今度は青年の国へ行くことだった。そこには確かにもう一つの絆が生まれていたからだ。誕生した青年の子どもは日本の「ババ」と呼んで慕った日本名前がつけられていた。

19歳から73歳の16人の仲間がアフリカの地に向かった。そこには人種言語の壁はない、解放された自由な世界があった。こには人種言語の壁はない、解放された自由な世界があった。

遊行社 社長 本間千枝子

# 「ハルくんの虹」の彼方。

「カメルーンと日本 愛と希望のリレー  
ハルくんの虹」  
画家佐藤泰生原画展  
X  
著者上斗米正子トークライブ



【会場】教文館3Fギャラリーステラ  
〒104-0061 東京都中央区銀座4-5-1  
TEL.03-3561-8448 (参加無料)

原画展；  
2023年2月1日(水)~2月15日(水)  
10:00~19:00 ※最終日は17:00まで  
日曜は13:00~19:00

トークライブ；  
2月4日(土) 5日(日) 11日(土)  
いずれも14:30~15:15:30

- 【主催】教文館
- 【共催】遊行社
- 【協力後援】カメルーン大使館 一般財団法人言語交流研究所 ヒッポファミリークラブ



# 誕生

昨年生まれた莉菜ちゃん、「ハルくんの虹」の本に向かって突進！本のキラキラ輝く色彩が目に入るのかな。温かい涙が溢れ出てきて、背景を思い浮かべながら読んでいたけど、ばあばの声あたりから、涙が止まらなかつた。ことばにすうつとすごい！宝物の本だね。

大澤綾子



お家に一冊！学校の図書室にも一冊！ぜひ置いて欲しいなあ。まず、絵が凄いい！ほんとにドーンと感動します。日、英、仏のことばもとても優しくて、さっぱり分からないインソ語もなかかカメルーンに行っちゃったよ！な気になるので素敵。こんな絵本を読み聞かせしてもらいたいながら成長することどもたちは幸せだなと思います。

先日あらためて日・仏で声に出しながらじっくり絵本を読みました。カメトゴ(カメルーンとトゴ)交流を実現させて、帰国した時の興奮～“もう、何語何語なんてケチなことを言う場合じゃありません。人間のことばはひとつだよ。世界中どこに行っても、同じ人間がいるだけだね”。このメッセージは、今も私の心の中にいつと響いている。

はるさんの「虹」のメッセージも、「ちっちゃな虹の手たち」の日・英・ソノゾ語・仏の歌を聴いた時も、メンジさんの仲間たちの心とカメルーンの風景が浮かんだ。だよ。そして、今こそ、このちっちゃな虹の手たちの繋がりのおかげで、世界の未来を変えて行くに違いない。みんなの小さな決意が次の世界を、まあるく、豊かに創り行くんだけであって強く感じました。

あなたがずっとヒトツボの世界と一緒に歩いて来たこと、はるさんに会え、こんなに素敵な出会いがあったこと、～素晴らしい人生に乾杯。大きな勇気と力を有難う、Merci beaucoup, Muchissimas Gracias !



実に感動するストーリー！カメルーンと日本の架け橋となったハルくんの父が、少年に夢を与え、老人に夢を実現させた。虹を構成する7つの色が違っても、世界をひとつに調和できる。多様性こそがこれからの「共生社会」のカギ。

ウスビ・サコ

長い間の素晴らしい関係を、絵本という誰もが楽しめる形でお出しになったのは素晴らしいことですね。ハルくんのこれからは楽しみですね。

中村桂子

ほのぼのとした交流からすばらしい成果を結実されましたね。上斗米さんと小出さんの正に共著ですが、小出さんの幼児体験をハルくんにも重ね、アフリカへの旅が小出さんにとっても、人生の中で大きなエピソードになったようですね。自分の幼い体験、人生が速く世界とつながってゆく美感を持たれたのではないのでしょうか。絵本は子供への読み聞かせの体験をもっているように思いますが、大人の読みものでもあるということでしょうか。

土田ヒロミ

立派な絵本を有難う。粋な絵がついて魅力が増しましたね。朝日新聞の記事を読んで、当時大學生だったあなたも古希を迎えたことを思い出した。二重におめでとう。これから、いままでの蓄積がいろいろな総りをもたらしくれるにちがいないと思います。

知合いが Facebook に寄越した「SE TENIR DEBOUT」の詩を贈ります。

朝比奈諒

## ハルくんの虹 私にも届きました！

国もことばも人種も超えた人と人との交流は夢物語ではなく、人間ならだれでもできることなんだと可能性を感じました。私もこんなふうになんか接していきたくていい気持ちになりました。この本に出てくる人たちのように人と向き合っていくには、世界中から壁や争いがなくなり、人と人が認め合い、つながり、仲良く暮らせる世界ができていくのではないかと思っています。

お話しは日本語、英語、カメルーンの現地語、INSO 語とフランス語の4言語で書かれているのもうれいですが、最後に載っているテーマソングには QR コードも付いていて、動画でも楽しめます。

また、表紙の絵など全編にわたって生き生きとしたタッチで描かれた佐藤泰生さんの作品も魅力です！帯には京都精華大学学長のウスビ・サコさんも文章を寄せていたり、カメルーンの人々や笑顔の写真もたくさんあって、本から愛や希望が溢れ、虹が読んでいる私にまで届くような感覚になりました。

多様性、多文化、多民族、多言語、多世代など「共生社会」を生きやすくするヒントが詰まっています、子どもから大人までの世代の人にも楽しめる本だと思います。

Amazon レビュー★★★★★2022年5月5日 ソンツア

## ちっちゃな虹の手たち

### A symbol of universal Love, Peace and No War

The Haru-kun's Rainbow: Cameroon and Japan Relay of Love and Hope is such a wonderful book that brings out the social interaction between different people (both children and adults), races, languages and countries in the world. The book brings out the idea of love without barriers irrespective of who we are. The world's multiculturalism, not in any way a barrier to love for one another. The extension of Rainbow hands goes beyond Cameroon and Japan and there is this wish that they will touch everyone the world over; a symbol of universal love, peace and no war.

「ハルくんの虹 カメルーンと日本」と希望のレインボウは、様々な人々(子どもも大人も)、人種、言語の壁を超えて、世界中みんなの繋がりをもたらす素晴らしい本です。この本は、全ての人の人に共通の、境界のない愛について教えてくれます。多言語、多文化、多民族主義は、相互に理解しあえるという方法です。ちっちゃな虹の手の広がりは、カメルーンと日本を超えて、普遍的な愛、平和、そして戦争のない世界のシンボルとして、どんな人でも愛される希望の本です。

Mengnjo Jude Wirmvem

絵本の粋をでていて、芸術作品です！目をとおしなから少しだけ声に出して読んでみました。涙がでてきて、胸がしめつけられます。あのアフリカが帰ってきました。素晴らしい本、宝物です。



「ハルくんの虹」すごく良かったです。平和について、身近なところから考えるきっかけになる素晴らしい本だと思います。感動しました。私たちの「北習志野でわたくし図書館」はじめ、多くのかたに読んでいただきたいです！

山口奏絵

子どもの目線での語り口調がいいですね。途中じわっと泣きそうになりました。はるさんが出てきて近距離感がありました。「歴しき連帯」に遠州井が出てきて近距離感がありました。息子の卒業校で読み聞かせボランティアをしています。内野小学校の図書室に「ハルくんの虹」を寄贈する。大切な本です。大切なメッセージです。いろんな言葉で書かれていたのも嬉しいです。絵もとてもいいですね。と。沢山の子どもたちが手に取ってくれるといいなあ。

金澤裕子



## Over the Rainbow 「ハルくんの虹」の彼方

この絵本は子どもだけのものでもなく、大人だけのものでもありません。誰にでもよんで欲しい絵本です。この絵本を手にしたとき、私は思わず、地球上で今起きている様々な事象の中で、人間が本当に大切にしたいものを感じたのです。

2022年夏、ヒップが青少年交流でメキシコチコチワロに行きました。私のホストのアランサンさんは高校生で日本にきたこともあり、「ハルくんの虹」をプレゼントと、一巻に読みました。そして感動のあまり「スペイン語にしたい！」と一週間で訳しました。

月1回曜日の夜、私はインド、タイ、イタリヤ、ロシアの仲間たちと多国籍 Zoom をしています。今月は「ハルくんの虹」絵本を、みんなある程度日本語がわかるので、日本語で読みました。みんなの感想が素敵でした。平和につながる人間の出会い！カメルーンのハルくんのお父さんの気持ちや素晴らしい人間にとって大切なことは何か考えさせられた。サンクトペテルブルグの私のお父さんに対して、今のロシアのことは理解に苦しむ、悲しい。でも、あなたは私たちの友だちだよと口々に言いました。彼女は今まで見たこともない程の満面の笑みになりました。次は彼女が「ハルくんの虹」をロシア語に訳してくれるのでは……。『ハルくんの虹』が、世界の仲間にながりで7カ国語になる予感があります。

内藤和子



## 教文館 presents the books

絵本の原画展と 著者トークライブ期間 Special

### 「ハルくんの虹 カメルーンと日本 愛と希望のレインボウ」

作・上斗米宇子 画・佐藤泰生



運行社 2,600円 (税込)



運行社 1,700円 (税込)

「有飛行」と出生世界へ！高校受験準備書 21 冊版アフリカ2017〜ムンブツ探険記」



「有飛行」と出生世界へ！高校受験準備書 21 冊版アフリカ2017〜ムンブツ探険記」



「有飛行」と出生世界へ！高校受験準備書 21 冊版アフリカ2017〜ムンブツ探険記」



「有飛行」と出生世界へ！高校受験準備書 21 冊版アフリカ2017〜ムンブツ探険記」



「有飛行」と出生世界へ！高校受験準備書 21 冊版アフリカ2017〜ムンブツ探険記」



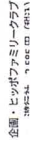
「有飛行」と出生世界へ！高校受験準備書 21 冊版アフリカ2017〜ムンブツ探険記」



「有飛行」と出生世界へ！高校受験準備書 21 冊版アフリカ2017〜ムンブツ探険記」



「有飛行」と出生世界へ！高校受験準備書 21 冊版アフリカ2017〜ムンブツ探険記」



「有飛行」と出生世界へ！高校受験準備書 21 冊版アフリカ2017〜ムンブツ探険記」

「有飛行」と出生世界へ！高校受験準備書 21 冊版アフリカ2017〜ムンブツ探険記」